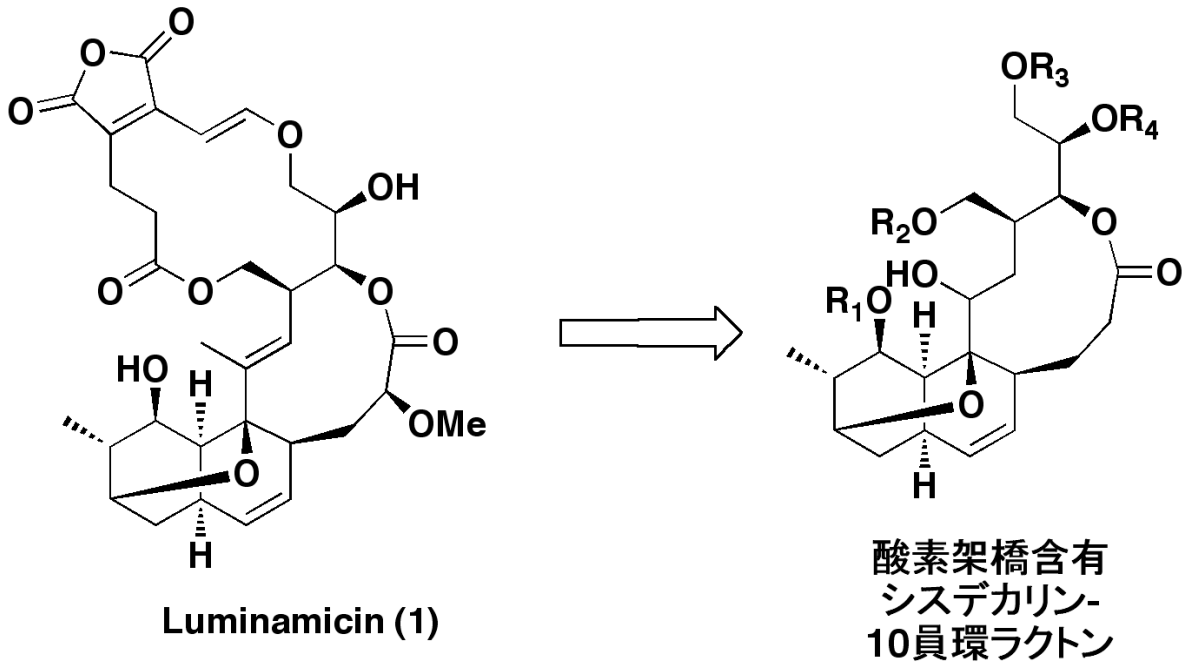
28l-am10

抗嫌気性菌活性を有する Luminamicin の合成研究

○君嶋 葵[1], 諸留 圭介[1], 高田 拓和[1], 松丸 尊紀[1], 菅原 章公[1,2], 廣瀬 友靖[1,2], 大村 智[1,2], 砂塚 敏明[1,2]（[1]北里大院感染制御, [2]北里大生命研）

【目的】Luminamicin (**1**) は北里研究所の大村らによって単離された特異なシスデカリン含有マクロジオライドである。更に **1** は偽膜性大腸炎等の原因菌である *Clostridium* 属に対して選択的に抗菌活性を示すことが報告されており、新規治療薬のリード化合物として期待できる。従って **1** を全合成のターゲットにすることは有機合成化学的、創薬科学的にも非常に有意義であると考え、**1** の全合成研究に着手した。

【方法・結果】まず、**1** の合成を行うに当たり、特徴的な構造を有する上部と下部で分割し、これまでに各々のフラグメント並びに中央部分の三置換オレフィン含有 10 員環ラクトンの構築法を確立している。本年会では、確立した構築法を基に酸素架橋含有シスデカリン-10 員環ラクトンの構築を達成したので報告する。